



くろしお

あがまちデータ 2017(平成29)年11月30日現在

- 人口 11,436人(前月比21人減)
【男5,476人 女5,960人】
- 世帯数 5,558世帯
- 15歳未満の年少人口 970人(比率8.48%)
【男511人 女459人】
- 65歳以上の高齢人口 4,837人(比率42.30%)
【男2,041人 女2,796人】
- 人口のうごき
増加 14人 出生4人 転入9人 その他1人
【男3人 女1人】 【男8人 女1人】 【女1人】
減少 35人 死亡21人 転出14人
【男9人 女12人】 【男4人 女10人】

主な内容

- P. 2 年頭のあいさつ
- P. 3 まちのできごと
- P. 7 くろしお子どもニュース
- P. 8 学校だより
- P. 10 健康カレンダー
- P. 12 介護保険ガイド
- P. 15 備えて安心
- P. 16 役場からのお知らせ
- P. 26 イベントカレンダー
- P. 29 IWKTV番組予定表
- P. 31 くろしおっ子を紹介します!
- P. 32 図書館カレンダー



発行/黒潮町役場

旧住所(～1月8日)〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野2019番地1

新住所(1月9日～)〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野5893番地

TEL 0880-43-2111(代表) FAX 0880-43-2788 (2018(平成30)年1月1日発行 印刷/(有)宿毛印刷)

ホームページ <http://www.town.kuroshio.lg.jp/> ☒ somu@town.kuroshio.lg.jp

【写真:入野の浜の日の出】

年頭のごあいさつ

黒潮町長 大西勝也



新年明けましておめでとうございます。住民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

わが国に未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震からもなく7年が経とうとしています。今もなお避難所生活を強いられている被災地の皆様のご労苦を思うとき、あらためて自然の脅威を感じるとともに地震津波対策に万全を期し、その日に備えなければならぬと決意を新たにするところです。

また、災害は地震津波のみならず、昨年は九州北部地域において豪雨災害が発生しました。線状降水帯の形成による豪雨は想像をはるかに上回り、自然災害への備え

の難しさを目の当たりにしました。本年からはこれまでの地震津波対策に加え、この豪雨による土砂災害対策への取組を強化していくこととしています。

そういつたなか、これまで官民共同で進めてまいりました防災の取組が評価され「濱口梧稜国際賞」を受賞いたしました。国内外から高く評価をいただいた背景には、34メートルという衝撃的な想定にもひるむことなくしっかりと向き合い、防災の取組を進めてきてい

思いやりあふれるまちに

ただいた地域の皆様の活動があります。引き続き住民の皆様とともに防災の取組を進めながら行政組織といたしましてもあらためて緊張感を持ち、災害対応に勤めてまいります。

また、黒潮町地域福祉計画も第2期に入りました。これまで多くの住民の皆様のご協力のもと、「黒潮町の新たな福祉ネットワーク構想」実現に向け取組を進めてまいりました。現在、その核となるあったかふれあいセンターは4施設

とそのサテライトが稼動しており、多くの住民の皆様にご利用をいただいています。今後は集落活動センターなどと連携を密にし、医療や介護との接続をはじめ、地域にとつてより必要とされる拠点となるよう高度運用を進めていくことで黒潮町の目指す「誰もが住みなれた地域で、健康で笑顔で暮らし続けられる町づくり」を実現してまいります。

本町が抱える課題は教育から福祉、産業にいたるまで簡単に解決

できるものではありませんが、先人への感謝と将来世代への責任を忘れず、住民の皆様とともに一歩一歩歩みを進めてまいりたいと思います。

住民の皆様におかれましては寒さ厳しい折、くれぐれもご自愛いただき町政発展のためより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年一年が皆様にとりまして平穏で幸せな年となりますよう祈念し新年のご挨拶いたします。

第55回大方の秋まつりと 第5回黒潮町まるごと産業祭

11月12

日(日)、

土佐西南

大規模公

園体育館

周辺で、「第

55回大方

の秋まつり」

と「第5回黒潮町まるごと産業祭」

が合同で開催され、昨年を上回る

約7000人が来場しました。

体育館では、お茶席や書道、生

け花、絵画や工芸品など一般の方

の作品が展示され、体育館周辺で

は、黒潮町の様々な特産品が販売

されました。特設ステージでは歌

や踊りなどの発表が行われ、日頃

の練習の成果を発揮しました。



作品を鑑賞する人々



子どもたちのダンス

商工会青年部の天日塩焼きそば

や、大方高校のかつおタタキバー

ガー、黒潮町缶詰製作所の缶詰販

売など、地元の特産品がある出店や、

地元で古くから栽培されている和

紙の原料の若山楮の蒸し剥ぎ体験

コーナーや、幡東森林組合による

木材の販売コーナーなどもあり、

来場者が黒潮町の産業をまるごと

体験できる祭りとなりました。

また、土佐くろしお鉄道・西南

交通バスサポーターズクラブ事務

局による反射神経体験コーナーや

ボンネットバス乗車体験、ゆるキ

ヤラのサニーくん・サンコちゃん

との撮影などもでき、大人から子

どもまで楽しめました。



にぎわう会場



サニーくん

地域の支え手育成 認知症サポーター養成講座

黒潮町介護保険事業所等連絡協

議会と地域包括支援センターの共

催による「認知症サポーター養成

講座inおおがた」が10月24日(火)

に開催され、約40人が受講しました。

同講座は、認知症に悩む人が住

みやすいまちとなるよう少しでも

多くの人に理解してほしいという

思いのもと初めて開催されました。

金融機関の関係者や地域のボラン

ティア活動を行っている人、役場

職員などに対し、認知症の人に見

られる症状や接し方などについて

説明がありました。

講師を務めた濱村美香さんは、

「誰もがサポーターになることが

できる。この講座をきっかけに、

優しく温かい気持ちで認知症の人

を見守ってほしい」と、地域と認

知症患者との関わり方について思

いを言葉にしました。

また、参加者で

郵便局に勤務の山

本順子さんは、「認

知症の方には、一

つずつゆっくり説

明するよう心掛け

たい」と話しました。



講師の話に耳を傾ける受講生ら

2017年度第1回つながり・つむぐ 人権・同和教育学習講演会

大方町民館で11月9日(木)、講

師に入野小学校・前田浩文校長を

迎え、「ともに学ぶ」と題して第1

回人権・同和教育学習講演会が開

催されました。

同会は、大方町民館と児童館の

協力で開催され、学校関係者や生

徒をはじめ約80人の来場があり、

人権問題への関心の高さがうかが

えました。

前田校長は、「人権とは、安心・

自由・自信が尊重され、認められ

てはじめて成り立つ」とこれまで

の経験から、いじめや部落差別な

ど様々な人権問題への取組をオリ

ジナルソングにし、弾き語りを交

えながら講演を行いました。来

場者は熱心に聞き入っていました。



講演を行う前田浩文さん

祝日本一
第35回JAWAアームレスリング
選手権大会 55キロ級優勝

拳ノ川地区出身の矢野大輔さんが11月4日(土)、第35回JAWAアームレスリング選手権大会 55キロ級ライトハンドの部で優勝を果たしました。同大会には、全国から約400人の参加者が出場し競技を行いました。



矢野大輔さん

矢野さんは、友人に誘われ高知市にある道場へ見学に行ったことがきっかけでアームレスリングを始め、6年目の現在、「高知龍腕」(アームレスリング道場)の代表を務めています。

普段はニラ農家の仕事をしながらトレーニングを行い、全国のアームレスリング大会に出場しています。

矢野さんは「優勝した時、やってきて良かったと、支えてくれた家族やチームのみんなに感謝の思いで一杯になった」「アームレスリングをやってきたことで、多くの繋がりができ世界が広がった」

と振り返っていました。

矢野さんが強さを保つ為に気をつけていることは「基本に立ち返り現状に満足しないこと」と話し、「まずはアジア1位をめざし、いずれ、世界1位をめざしたい」と次なる目標をあげていました。

また、これからアームレスリングを始める人に向けて「日常の取組としてコツコツ楽しんでトレーニングしていけば伸びていく。努力は報われる。」と話していました。



優勝メダル



試合の様子

フルオン賞受賞 幡多舞人
第16回「2017」
DREAM夜さ来い祭り

11月4日(土)、東京都・お台場にて「第16回2017 DREAM夜さ来い祭り」が開催され、全国から70チーム約6千人が参加しました。



幡多舞人 代表 西村和子さん

高知県からは「AZUKI」「幡多舞人」「よんでん」「濱長花神楽」「四万十町よさこい踊り子隊四万夢多」の5チームが出場し、黒潮町から出場した幡多舞人が、地域を良くアピールできていたチームに贈られる「フルオン賞」を受賞しました。

幡多舞人の代表・西村和子さんは受賞について「一番嬉しい賞をいただきました。「幡多を元気に」を目標でがんばってきたので」と喜びを語りました。西村さんは町は若い人が少ないので、夢の部分育てていきたい、町にいずれ戻ってきてもらえるように幡多の仲間達と一緒に踊りたいと5年前に

よさこいを教え始め、幡多舞人を結成しました。

チームは小学校1年生から67歳までの男女約100人の踊り子で結成されていて、家族で踊ることが出来るチームです。

西村さんは「5年で基礎を作ったのでこれから。チームの目標は2020年のオリンピックによさこいで出場すること」と新たな目標を語っていました。



幡多舞人のみなさん



マラウイでTシャツアート展 高知県民が現地で活躍

アフリカ大陸南東部に位置するマラウイ共和国のカウエチヘルセンターで11月14日(火)、「ひらひらフレンドシップ」が実施され、黒潮町とマラウイのつながりができました。



高知県出身・中平有さん

今回の企画は独立行政法人国際協力機構(JICA)四国支部により企画されたもので、同機構の活動理解促進調査団として四国各県より視察団の派遣があった際に、ムジンバ県北部保健事務所カウエチヘルセンターで行われました。展示されたTシャツは、今年5月にNPO砂浜美術館による「Tシャツアート展」へ同支部が出席していた作品で、マラウイの人々は興味津々の様子でした。

また、今回この企画が実施された場所は、青年海外協力隊である高知県出身の中平有さんの活動拠

点であり、栄養士として母子保健や食事指導に携わっています。

中平さんは高知市出身、以前は佐川町で行政職員として勤務していたこともあり、その際にも住民に対し栄養のある食事指導をしていました。「国を変えてもその頃の経験は活かしている」と話し、現在、乳幼児を育てる母親に対し、自分で作成した紙芝居を用いながら栄養バランスのとれた料理方法を教えています。

マラウイは世界最貧国ともされる国で中平さんは「海外は欧米だけではない。こういう世界もあることを日本の子どもたちに伝えたい」と話します。中平さんの任期は2年、まだまだ活動はこれからというところですが、「帰国後は地元の人たちのために何か貢献できれば」

と、今回の経験を、帰国後、地元へ還元できるよう意気込みました。



アフリカ・マラウイでTシャツひらひら

第2回黒潮町紅白歌合戦

第2回黒潮町紅白歌合戦が11月4日(土)、ふるさと総合センターで開催され、11組計24人の出場者が歌声を披露しました。

今回で2回目となる同大会は、NPO砂浜美術館の主催で、町民に大きなステージで歌声を披露する楽しみや、歌を聴き楽しむ機会を作っていききたいとの思いで開催されています。

出場者は小学生から83歳までと幅広く、夫婦での出場や、家族や友達同士でステージに上がり、日頃の練習の成果を発揮しました。

歌合戦は赤組と白組の激戦の末、赤組が勝利し、特別賞は、パフォーマンスのバランスに優れた三保木明美さん、高音の伸びと将来性を感じられた家族参加の森稟花ちゃんに贈られました。



特別賞受賞の三保木明美さん

入野松原入野・浮鞭海岸一斉清掃

11月19日(日)、入野松原保存会主催「入野松原、入野・浮鞭海岸一斉清掃」が行われ、

2トントラック2台分のゴミが集まりました。



入野松原の清掃

入野松原保存会は平成元年に結成された団体で、全国の松原サミットやシンポジウムへの参加、記念植樹や勉強会などを行い、長年入野松原の保存に取り組んでいます。

年1回行われる清掃は、毎年大勢の人が参加して地元の海岸の美化と保存に貢献しています。

家族で3回目の参加となった柿内睦ちゃん(8歳)は、「一生懸命拾ったけど、まだまだゴミが沢山ある。次も参加したい」と話し、お父さんは「娘が参加すること、地元の人を大事にしようという思いが育ってくれば」と話していました。

はまぐち せりょうこくさいしやう

濱口梧陵国際賞を黒潮町が受賞

◆ 濱口梧陵国際賞

11月5日が国連総会において「世界津波の日」に制定されたことを契機に沿岸防災技術に係る国内外での啓発および普及促進を図るべく、我が国で150年ほど前に自らの資産を投げうって村人の命を津波から守った濱口梧陵の名前を冠した濱口梧陵国際賞が創設され、この度、同賞を黒潮町が受賞しました。

濱口梧陵国際賞は、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人または団体を表彰し、その功績を称え、広く世に知っていただくものであり、町民の皆さんを始め、これまでの黒潮町の地震・津波対策に関する取組が高く評価された結果です。



◆ 受賞者の紹介

【個人】 Philip Li-Fan Liu教授

シンガポール国立大学副学長兼特別教授/コーネル大学名誉教授

Julio Kuroiwa教授

ペルー国立工科大学名誉教授/ペルー国際災害危機軽減会社理事兼本部長

【団体】 黒潮町

◆ 住民と行政の協働による黒潮町の地震・津波対策

平成24年3月31日に内閣府中央防災会議から発表された南海トラフ巨大地震の新想定を受けて、黒潮町ではこれまでに住民と行政が協働して様々な取組を進めてきました。



現地点検



ワークショップ



避難道整備



津波避難タワー

黒潮町の防災の特徴として、地域が持つ防災意識の高さや地区主体の防災活動が継続して行われていることがあげられます。現在も多くの地区で地区防災計画の作成が進められており、地区住民が定期的に集まって話し合いが行われることで、防災意識が低下することなく、目に見える形で防災対策が進められています。今後もこの活動を継続し、地域および住民が自ら必要な備えを進め、行政がリードしてきた防災をさらに地域が主体となり行っていくことが、犠牲者ゼロを目指す黒潮町において、今後最も重要な取組となってきます。



地区合同避難訓練



自主防災会主催シンポジウム

◆ 授賞式および記念講演会

11月1日(水)に海運クラブ(東京都)で開催された授賞式には、当町を代表して大西町長と森岡自主防災会長が出席し、記念講演などを行いました。

本賞の受賞を受け、今後もさらに行政と地域の協力を深め、引き続き防災の取組を一歩ずつ前に進めていきたいと思えます。



濱口梧陵翁のご子孫 濱口家12代 目当主・濱口道雄さんと(写真中央)

○お問い合わせ 本庁 情報防災課 南海地震対策係 ☎43-2188

理科の観察で四万十川へ

ぼくたちは、理科「流れる水のはたらき」の学習で、四万十川に観察に行きました。まず、「かわらっこ」で観察しました。30センチメートルをこえる大きな石でいっぱいでした。川原には大きな木も流れていて、大雨や台風の際に流れる水のはたらきで流されたんだと思いました。こんな大きな石や木が流されるなんて、すごいなと思いました。

次に、「高瀬ちん下橋」に行きました。お兄ちゃんは、夏にこの橋の上から飛び込むので、すごいと思います。水面からかなりの高さがあるので、大雨や台風の際の水の量は、とても多いんだなと思いました。



四万十川にて

最後に「赤鉄橋」の下の川原に行きました。川の石は、かわらっここと比べると丸くて小さいです。かわらっこと同じ色の石があったので、上流から流れてくる間に丸く小さくなったんだと思います。四万十川が大きい川だから下流の石も大きいんだと思いました。赤鉄橋を下から見ると、とても高くて大きかったです。

(三浦小学校 5年 浜口 章一)

はっぴょう朝会でけん玉

1・2年生のはっぴょう朝会では、1年生が「のりものずかん」について、2年生は、「紙コップけん玉の作り方」について、そして、1・2年生みんなで、「けん玉せんしゅけんわぎ」についてしゃべりました。

けん玉は、本ものよりも自分たちで作った紙コップの方がかるくて、かんたんです。みんな木の本物のけん玉でも、次々に技をおぼえてクリアしています。朝会でしゃべりたいと思っています。上きゅう生は、やっぱり上手です。

けん玉を上手にするコツは、ひざをつかって玉をふわつとのせることです。それから、何といても、くじけず何回もれんしゅうすることです。むずかしいけれど、せいこうした時は、「やったー。」と、とびはねるくらいうれしいです。



けん玉作りの発表の様子



紙コップけん玉を作る児童

(拳ノ川小学校 2年 森 稟花、坂本 唯羽、大砂 銀慈 1年 今西 遥斗)

産業祭に参加しました!

11月12日(日)、土佐西南大規模公園で、第55回大方の秋祭り、第五回黒潮町まるごと産業祭が開催されました。



かつおタタキバーガーの販売

このお祭りと同時開催で「海辺の日曜日」も行われ、他にも作品の展示や出店、舞台芸能、餅投げなど、楽しいイベントが盛り沢山でした。

私たち大方高校も出店し、定時制はうちわや繭で作られたマグネット、全日制はかつおたたきバーガーを販売し、「地域学」を学ぶ一年生と生徒会全員で協力し、目標の三百個を売り上げることができました。



キャラクターのかつぱあも応援

お客さんの呼び込みなど、出店することの販売することの大変さも理解でき、高校生活の良い思い出になりました。

(大方高校 3年 松尾 愛花)

拳ノ川小学校

『確かな学力を備え、豊かな心を持ち、体力に富み、主体的に活動する拳ノ子』の育成

校長 南 早百合

◆はじめに

本年度は、児童数16人、教職員8人で教育活動を進めています。本校は豊かな自然の中に位置し、児童も職員も四季の美しい変化を楽しみながら学校生活を送っています。「拳ノ子」は、素直で明るく、優しさや思いやりの気持ちを素直に表現できる子どもたちです。それは、保護者や地域の方々との温かいふれあいを通して育まれてきたものだと思います。

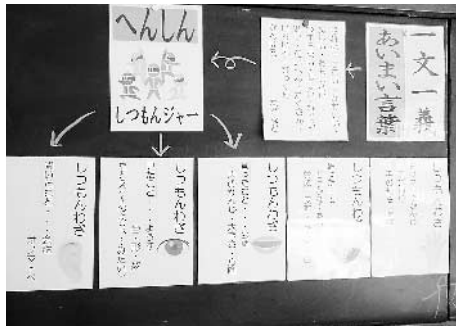
本校は、コミュニティ・スクールとして今年度で13年目であり、学校・家庭・地域の三者が連携し、「信頼される学校づくり」拳ノ川の未来を拓く子どもを育てる」をテーマとして、様々なコミュニティ活動を展開しています。

◆「確かな学力」について

本年度の重点目標を「論理的思考力の向上」「説明文の読み取りの力の向上」と



メモの取り方の説明と練習



作文の書き方指導について

して、教材研究・研究授業を行い、効果的な指導方法について講話をお聞きしたり、資料を活用するなどして授業づくりについて研究を続けています。また、長年続けている「綴り方集会」でも、作文指導や感想の言い方、メモの取り方などについて、児童に説明をする時間を取っています。

◆「豊かな心」について

月に2回、朝の時間帯に「読み聞かせタイム」を設定し、教職員、図書委員、縦割り班の班長が低・中・高学年の教室に行って本の読み聞かせをします。9月には、コミュニティ理事の矢野さんとあかつき館の山沖館長さんに読み聞かせをしていただきました。また、学年ごとに年間読書目標ページ数を決めて読書活動を進めています。今年度は一人ひとりの児童が1年間



図書委員による読み聞かせ



必読図書読書点検カード

で読みたい本を年度当初に20冊決めて読書に取り組みました。目標を達成した児童には、図書委員から表彰をしています。20冊読み終えた児童は、新たに20冊を選んでいます。

その他に、児童会が中心になって、「ありがとうの木」という取組も続けています。友だちの素敵なところを探して「ありがとうの実」に感謝の気持ちを書きます。生活朝礼で児童会役員が発表しています。



ありがとうの木

◆「体力向上」について

天気の良い日は8時から放送にあわせてジャックナイフストレッチと朝マラソンをしています。3分間で校庭を何周走れたか、記録表に記入をしています。二学期からは、「一輪車検定」達人をめざしてがんばろう! という取組が始まりま

した。5級の技から始め、18の技すべてができたら達人の認定証をもらえることになった。現在、現在3人の達人がいま



美しく色づいた木々のそばを走る子どもたち

◆「主体性」について

様々な教育活動やコミュニティ活動などを通して子どもたちの主体性を伸ばしていきたいように努めています。8月の佐賀北部地域の夏祭りでは子どもたちが手品、剣玉、歌などのだし物を披露し、11月の収穫祭の発表会では、「さが谷昔ばなし」の中から「いられの長吉さん」の劇を楽しく演じました。保護者や地域の方々に評価をしていただく中で子どもたちは自信をつけていっていると感じます。10月からは、高知大学地域協働学部の学生さんたちの企画で「水曜放課後プロジェクト」という取組も始まり、大学生との交流を楽しんでいます。

三浦小学校

「コミュニティ・スクール」の
力で「三浦小ならではの」
教育をつくる

校長 布 正人

◆はじめに

三浦小学校では、学校教育目標を「いつも笑顔で元気です」とし、めざす児童像を「進んで学ぶ子・心豊かでたくましい子・地域が大好きな子」として、全校49人の児童と13人の教職員で歩みを進めています。

三浦小学校は地域とのつながりが強い学校です。その強みを生かして、認定を受けてから今年度で2年目となる「コミュニティ・スクール」の力で、「めざす児童像」を豊かに実現するための授業づくり・学校づくりを行っています。

それでは、今年度の教育活動の一端をご紹介します。

◆学力向上

①授業改善

学び合える学級づくり

学ぶ意欲を感じ、思考を深め、伝え合う場面のある授業づくりを進めています。

なんとといっても授業改善には学級づくりが欠かせません。共感的な人間関係を授業を通して育みます。

②読むことの充実

- ・ NIEへの取組
- ・ ICTの効果的な活用
- ・ ペア読書
- ・ 読書ボランティアの活用

③基礎学力の定着

組織的な加力学習の工夫・学力検査の活用・家庭学習の充実

4月に行われた標準学力調査の結果では、(昨年度の内容の定着度検査)ほぼ全国平均と同等の結果でした。しかし、3年生の国語、5年生の国語が弱いという結果になっています。この結果をうけて、「安心して学べる学級作り」の上にも

- ・ 家庭学習の徹底
- ・ 読むことの徹底
- ・ 忘れた頃に繰り返し
- ・ 帯タイム放課後加力の充実

を徹底して取り組んでいます。

◆絆づくり・仲間づくり

①心の教育の充実

全校の心のつながりや上級生の活躍する場面をつくり、全校の絆づくりや上級生を育てる取組を進めています。

- ・ あいさつ運動
- ・ がんばった朝会
- ・ 縦割り班活動(作業を大切に)
- ・ 児童会を中心とした活動(集会活動・みんなで遊ぶ日)

②豊かな体験活動と交流活動の推進による人づくり

地域の人・もの・こと「産業・文化」の活用により、地域を誇りに思い地域が大好きな児童の育成

- ・ 「生きる力」を体感する場としての体験学習
- ・ 「生華園との交流(稲つきり・夏祭り・餅つき)」
- ・ 「防災参観日」
- ・ 「三世代交流」「11月・みうら学びの月」の取組(家庭のルールづくり、家読の日)

など、コミュニティ・スクールの認定を活用して、「三浦ならではの」活動を計画・実践して行きます。



6年生よる1年生への読み聞かせ

◆健康・安全・体力づくり

基本的生活習慣の確立・防災教育の充実

徒歩通学・朝運動・外遊の推奨

- ・ 基本的生活習慣の確立
- ・ 防災教育の充実

雨の日も風の日も徒歩通学をする子どもたちに頭が下がります。参観日にも保護者の帰りを待つことなく、徒歩で帰ります。2時間目と3時間目の間の休み時間には元気に外で遊ぶ子どもたち、昼休みにはみんな遊ぶ日も計画されます。

防災教育に関しては、いろんな場面を想定し、年間10回以上の避難訓練があり、その中で、生きた防災教育を進めています。



遠足での避難訓練



防災フェスティバル

今年度は、10月に防災参観日として、地域と共に防災フェスティバルに取り組みました。当日は、起震車体験・豪雨体験・3Dシミュレーション(土石流疑似体験)・炊き出し訓練などに地域と共に取り組み、学校や地域が一体となって、防災意識を高めることができました。

※HPも随時更新中です。

健康カレンダー

1月中旬から2月中旬までの健康に関する行事予定です。
変更となる場合がありますので、担当係にご確認ください。



○お問い合わせ
本庁 健康福祉課 保健衛生係
佐賀支所 地域住民課 保健センター
☎ 43-2836
☎ 55-7373

大方地域

1月	内 容	場 所	時 間
18日(木)	浮津ふれあいサロン	浮津集落センター	9:30~12:00
	大方 橘川 健康相談	大方橘川集会所	9:30~10:30
22日(月)	鞭ふれあいサロン	鞭老人憩の家	10:00~13:00
24日(水)	御坊畑ふれあいサロン	御坊畑集会所	9:30~12:00
25日(木)	馬荷ふれあいサロン	中馬荷集落センター	9:30~12:00
26日(金)	出 口 健 康 相 談	出口集会所	9:30~10:30
29日(月)	小川ふれあいサロン	小川集落センター	10:00~12:00
30日(火)	錦野ふれあいサロン	錦野集会所	10:00~12:00
31日(水)	3 歳 児 健 診	保健福祉センター	13:00~13:30 (受付時間)
2月	内 容	場 所	時 間
1日(木)	灘 健 康 相 談	灘集会所	10:00~11:00
5日(月)	奥 湊 川 健 康 相 談	奥湊川老人憩の家	10:00~11:00
	田村ふれあいサロン	田村集会所	9:30~12:00
9日(金)	入野本村ふれあいサロン	入野本村集会所	10:00~12:00

佐賀地域

1月	内 容	場 所	時 間
17日(水)	乳 児 健 診	総合センター	13:00~13:30 (受付時間)
18日(木)	大和田ふれあいサロン	大和田集会所	10:00~13:00
19日(金)	いきいき☆ココロ倶楽部	保健センター	9:30~11:00
22日(月)	愛 育 相 談	佐賀保育所	10:00~11:00
24日(水)	熊野浦ふれあいサロン	熊野浦集会所	10:00~11:00
26日(金)	いきいき☆ココロ倶楽部	保健センター	9:30~11:00
29日(月)	漁民ふれあいサロン	漁民センター	9:30~11:00
30日(火)	鈴ふれあいサロン	鈴漁民センター	10:00~13:00
2月	内 容	場 所	時 間
5日(月)	伊与喜ふれあいサロン	伊与喜集会所	10:00~13:00
7日(水)	市野々川ふれあいサロン	市野々川集会所	9:30~13:00
8日(木)	市 野 瀬 健 康 相 談	市野瀬集会所	13:30~14:30
9日(金)	佐賀ふれあいサロン	総合センター	10:00~13:00
14日(水)	乳児・1歳6ヶ月児健診	総合センター	13:00~13:30 (受付時間)
15日(木)	上分ふれあいサロン	上分集会所	9:30~11:00

■拳ノ川診療所 1月の診療予定

【診療時間】午前9時～正午、午後2時～5時(記載がある場合はその時間まで)

	日	月	火	水	木	金	土
午前		1	2	3	4	5	6
午後		年始休み	年始休み	年始休み	外来診療(池田先生)	外来診療(矢野先生)	
午前	7	8 成人の日	9	10	11	12	13
午後			外来診療(澤田先生) 〔伊与喜出張診療所〕 〔11:00～12:00〕		外来診療(池田先生)	外来診療(矢野先生)	
午前	14	15	16	17	18	19	20
午後		外来診療(幡多医師会) 12:30～14:00(受付13:50まで)			外来診療(池田先生)	外来診療(矢野先生)	
午前	21	22	23	24	25	26	27
午後		外来診療(幡多医師会) 12:30～14:00(受付13:50まで)	外来診療(澤田先生) 〔鈴木出張診療所〕 〔14:30～16:00〕		外来診療(池田先生)	外来診療(矢野先生)	
午前	28	29	30	31			
午後		外来診療(幡多医師会) 12:30～14:00(受付13:50まで)	外来診療(澤田先生)				

※当診療所は予約制となっております。初診の方や予約のない方はあらかじめ電話連絡をお願いします。当日の受付もできますので、どうぞご利用ください。

※医師の都合により、診療日および診療時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※月曜日のみ診療時間が午後12時30分～14時(受付は13時50分まで)となっておりますのでご注意ください。

※火曜日・木曜日・金曜日は、高知医療センター内科医師が診療しています。

【お問い合わせ】拳ノ川診療所 ☎55-7111



■当直医療機関

月日(曜)	四万十市	宿毛市 (0880)	四万十町 (0880)
1/21(日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	幡多けんみん病院 ☎66-2222	
28(日)	佐々木整形外科 ☎34-7177	聖ヶ丘病院 ☎63-2146	
2/4(日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	田村内科クリニック ☎63-1668	くぼかわ病院 ☎22-1111
11(日)	小原外科胃腸科 ☎35-0108	筒井病院 ☎66-0013	
12(月)	幡多病院 ☎34-6211	奥谷整形外科 ☎63-1202	

※当直医は、変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ(14) ●

介護保険制度・要介護認定について

申請者・利用者の方に知ってもらいたいこと

介護保険とは…

介護保険は、介護を要する状態になっても、できる限り自宅で自立した日常生活ができるように、必要な介護サービスを総合的・一体的に提供する制度です。

介護保険法

第1条(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ● (要介護者が) 尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービスおよび福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付などに関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上および福祉の増進を図ることを目的とする。
第2条(介護保険)	<ul style="list-style-type: none"> ● 保険給付は、要介護状態などの軽減または悪化の防止に資するよう行われるとともに、医療との連携に十分配慮して行わなければならない。 ● (要介護者が) 可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮されなければならない。
第4条 (国民の努力義務)	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービスおよび福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。



介護保険サービスは、要介護状態になっても、可能な限り自立した日常生活が送れるよう、身体機能の維持・向上を目的としたトレーニングや生活支援（掃除や調理などがこれまでどおり1人でできるようにするための支援）などを提供するサービスです。

また、これらは40歳以上の方から納付いただいた介護保険料をもとに提供しています。

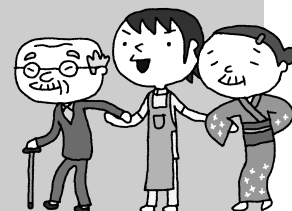
在宅での生活が身体機能や環境の面において難しい方には、施設サービス（特別養護老人ホームなど）が提供されます。

黒潮町では、介護予防のための取組として

- ・ 三世代ふれあい健診
- ・ いきいき☆ロココロ倶楽部（運動器の機能向上・寝たきり予防）
- ・ ふれあいサロン

などを実施しています。みんなで介護予防に取り組みましょう！

※介護予防事業については保健衛生係 ☎43-2836までお問い合わせください。



そして… 介護保険サービスが必要になったら

65歳以上の方で介護が必要となり、介護保険サービスの利用を希望するときは、「要介護認定」を受ける必要があります。要介護認定とは、心身の状態の改善が見込まれるかどうかや、支援や介護にかかる手間がどれくらいであるかを審査するもので、申請から認定まで1カ月程度かかります。

※40歳以上65歳未満の方で、特定疾病がある方も対象となります。詳しくは介護保険係へお問い合わせください。

申請

サービスの利用を希望する方は、介護保険係へ介護保険証(40歳以上65歳未満の方は医療保険証)を添えて申請してください。申請は、本人、家族のほか、ケアマネジャー、成年後見人、居宅介護支援事業者、地域包括支援センターなどにも頼めます。(申請書は黒潮町のホームページからダウンロードできます)

認定調査(訪問調査)

認定調査員が自宅や施設を訪問し、心身の状況などについて本人や家族などに聞き取り調査をします。

医師の意見書 ※役場から医療機関に依頼します。

主治医から介護を必要とする原因疾患などについての意見書を提出してもらいます。

審査・判定

認定調査結果と医師の意見書を基に保健・医療・福祉の各分野の専門家で構成される介護認定審査会で、介護にかかる手間や状態の維持・改善の可能性の審査を行います。

認定・通知

審査判定に基づいて、「自立(非該当)」「要支援1・2」「要介護1～5」の区分に分けて認定し、その結果を通知、あわせて介護保険証などを送付します。

要介護認定

～認定結果に応じて、必要なサービスが利用できます～

自立(非該当)

介護保険サービスは利用できませんが、福祉事業による各サービスを利用できる場合があります。(軽度生活援助、生きがい活動支援通所など)

要支援1・2

<介護保険>
介護予防サービス
を利用できます。
(地域包括支援センターでケアプランを作成します)

要介護1～5

<介護保険>
居宅・施設サービス
を利用できます。
(居宅介護支援事業者や施設でケアプランを作成します)

介護保険料は大切な財源です。安心で便利な口座振替を利用して納付期限までにお納めください。

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116

運動習慣をつけよう

運動をした方が良いということ
はなんとなくわかってはいるけど：
なぜ運動をしなくてはいけないの
でしょうか。それには、大きく2
つの理由があります。

◆生活習慣病の予防

摂取カロリーが消費エネルギー
を上回ると使われなかった分が脂
肪として身体に蓄えられていきま
す。

脂肪が必要以上に蓄積すると、
糖尿病、高血圧、脂質異常症とい
った生活習慣病になるリスクが高
くなります。

◆筋力や身体の機能の維持

人間は、持っている機能を使わ
ないと驚くようなスピードでその
機能は低下していきます。
筋力やバランス能力、さらには
長い時間動くことができる心肺機
能が低下してしまいます。

運動の効果

身体面の効果

- 健康的な体型の維持

- 体力、筋力の維持および向上
- 生活習慣病やメタボリックシン
ドロームの予防
- ロコモティブシンドロームの予防
- 心肺機能の向上
- 腰や膝などの痛みの軽減
- 血行促進による肩こり・冷え性
の改善
- 免疫力を高める

精神的な効果

- 気分転換やストレス解消
- 不定愁訴(※)の低減
- 認知症の低減
- 不定愁訴とは、明確な原因がな
いのに肩こり、めまいなどの身
体の不調を訴えること。

◆健康のための一歩を踏み出そう

今より少しでも長く、少しでも
元気に身体を動かすことが健康へ
の第一歩です。

運動⇨身体を動かすことと考え
て、プラス10分から始めましょう。

今より1000歩多く歩く

10分多く動くということは、歩
数にすると約1000歩多く歩く
ということになります。例えば、
意識して階段を使ったり、隣近所
への外出は歩いてみるなど、少し
行動を見直すことで10分多く動く

ことにつながります。
みんなで身体を動かそう

町内の身近な所でも、有志の方々
が集まり、楽しく運動に取り組ん
でいきます。みんなで一緒に運動し
てみませんか。その一部を紹介し
ます。

【健康づくり教室】

◆日時 第1・3水曜日

午前10時～11時

◆場所 保健福祉センター2F

大ホール

◆内容 歌謡体操など

【にこにこウォーキング】

◆日時 毎週月曜日

午前10時～(1時間程度)

◆場所 大方あかつき館前駐車場

に集合

◆内容 入野松原をウォーキング

【げんき体操】

集会所に集まって、週に1・2
回、介護予防を目的とした体操を
行っています。

◆実施場所

上川口浦、王迎、浮津、小川、
田村、本谷、早咲、浜の宮、入野
本村、芝、錦野、御坊畑、上田の
口、大方町民館

※実施希望地区募集中です。保健
衛生係までご連絡ください。

◆安全のために

誤った方法で身体を動かすと思
わぬ事故やけがにつながるので、
注意が必要です。

- 身体を動かす時間は少しずつ増やしていく。
- 体調が悪い時は無理をしない。
- 病気や痛みのある時は、医師な
どの専門家に相談を。

無理をしないで自分にできる運
動をみつけ、楽しく継続し、習慣
化されることをおすすめします。

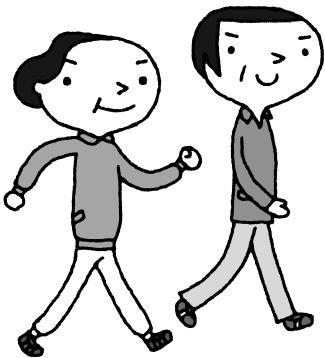
○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係

☎ 43-2836

佐賀支所 地域住民課 保健センター

☎ 55-7373



地域防災サポーター

養成講座を開催

災害や防災対策について一定の知識と技術を持った人材を育成することを目的に開催している「地域防災サポーター養成講座」が11月18日(土)から全3講座の内容で行われ、今年度は12人の申込のうち6人が全過程を修了され、地域防災サポーターとして町の認定を受けました。

第1講座では、高知地方気象台の阿部浩二さんと山内幸治さんを講師に迎え、南海トラフ地震の仕組みや、日頃起こりやすい台風、大雨といった風水害などについての講義をいただきました。

第2講座は普通救命講習として、黒潮消防署員より救命に関する知識と技能を身に付け行動できるよう、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

また、第3講座では、阪神・淡路大震災の被災経験を持つ北淡震

災記念公園・米山正幸総支配人に、被災した直後の災害活動や、日頃の地域の繋がりの大切さなど、今後の備えについて講話いただきました。また、実技講習として、日本防災士会高知支部の土居清彦さん

から、搬送方法やロープワーク、身の回りにある物の利用法など実践的な技術を学びました。

南海トラフ地震では、様々な被害が予想されますが、一人ひとりの備えが大きな効果を生み、備える人が増えることで安心して暮らせる地域社会となります。

今後と同講座の開催を予定していますので、今回参加されなかった方も次の機会にご参加いただき、災害に強いまちづくりを一緒にめざしましょう。



第1講座の様子

自主防災力を

継続・向上させよう

阪神・淡路大震災では、生存者を救出できたのは、大部分が地震発生後から3日目まででした。

このような傾向は他の大地震でもみられ、地震発生から最初の3日間は、人命を救助するために非常に重要な「黄金の72時間」と呼ばれています。

人命救助に最も大切な地震発生後の72時間を中心に、県、市町村、防災関係機関などでは、人命を救う応急活動を最優先に行います。しかし、次の南海トラフ地震では高知県の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されます。そのため、地域で助け合って救助活動を行うことが重要となります。



街路灯が寄贈されました

四国電力株式会社より街路灯が寄贈され、10月11日(水)に黒潮町役場で街路灯寄贈式が行われました。

寄贈数は3灯です。いずれの場所も夜間は暗く危険な場所でしたが、今回の寄贈によって地域安全の向上が図られました。

○街路灯整備地区

王迎、上田の口、出口地区



街路灯寄贈式

○お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113

ねんきん「コーナー」



新成人のみなさんへ
20歳になったら国民年金へ

日本に住んでいる20歳以上60歳未満の方は、国民年金に加入して、国民年金保険料を納めることになっています。

◆国民年金のポイント

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障がいが残ったときに受け取れます。また、遺族年金は加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

◆学生納付特例制度

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上で

ある課程）、一部の海外大学の日本分枝に在学する方です。

◆納付猶予制度

学生でない50歳未満の方で、ご本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に国民年金保険料の納付が猶予される制度です。（※平成28年6月以前の期間は、30歳未満であった期間が対象となります。）

加入手続きおよび免除申請は先までお問い合わせください。

◆「年金相談」のご案内

日本年金機構構幡多年金事務所では、3カ月に1度、出張年金相談を行っています。

なお、相談には、年金手帳（年金証書）や、本人確認のため、運転免許証などの顔写真付きの身分証明書が必要となります。

また、代理人の方が相談される場合は、本人からの委任状が必要となります。

◆日時

1月18日（木）

午前10時～正午

午後1時～午後3時

◆場所

黒潮町役場佐賀支所
（1階市民室）

○お問い合わせ

本庁住民課 住基戸籍係

☎ 43-2800

佐賀支所 地域住民課総合窓口第2係

☎ 55-3701

日本年金機構構幡多年金事務所

☎ 34-1616

新庁舎の住所のお知らせ

黒潮町役場新庁舎供用開始にともない、黒潮町役場本庁舎の住所は平成30年1月9日より左記のとおり変更となります。

【現庁舎】

〒789-1199 2

高知県幡多郡黒潮町入野

2019番地1

【新庁舎】

〒789-1199 2

高知県幡多郡黒潮町入野

5893番地

【お詫言・訂正】

広報くろしお12月号3ページ・まちのできごと「卓球デフリンピックメダリスト 町へメダルを寄贈」の記事内容に誤りがありました。関係者の皆さまには、大変不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。心よりお詫言するとともに、ここに訂正させていただきます。

【訂正箇所】

3ページ・19行目

⑥ 全国ろう話者大会

⑦ 全国ろうあ者体育大会

また、「全国ろう話者大会に参加した際、世界大会に出場したという人の話を聞き」と記載しましたが、正しくは、「全国ろうあ者体育大会でデフリンピックのことを知り、大会に参加した人から卓球の指導をもらい「世界で活躍したい」という思いが沸いた」です。

2018 大方人権まつり
「第29回解放のまつり」

今回は、「平」をテーマとして私たちの未来を」をテーマとして大方人権まつりを開催します。

小・中学生を中心に、これまで同和問題をはじめ、あらゆる差別解消に向けて学び・実践してきたことの発表と展示を行います。

できるだけ多くの方々に思いが伝わりますようみなさんのご来場をお待ちしています。

催し・発表

◆日時

2月3日(土)午前9時～

◆場所 ふるさと総合センター

◆発表

- ・大方中学校吹奏楽部演奏
- ・大方地区小・中学生による人権作文発表
- ・浜松解放子ども会発表
- ・黒潮町職労部落解放研究部発表
- ・大方中央保育所発表
- ・大正琴教室参加者演奏
- ・保・小・中学校教職員発表

◆出店

- ・寿司・炊き込みごはん・じゃこ飯・花の苗・グアバ茶・やきとり・カレーライスなど

◆記念講演 午後1時30分

「不登校だった僕らの声」

・ジェリービーンズによる人権コンサート



ジェリービーンズの皆さん

◆作品展示

◆日時

1月31日(水)～2月6日(火)

午前10時～午後5時

◆場所 大方あかつき館

大方地区小・中学生(人権標語・人権作品・書道・絵・ポスター・詩など)／大方中央保育所作品／大方生華園・大方誠心園活動紹介／大方町民館デイサービス活動紹介／浜松解放子ども会活動紹介

○お問い合わせ

2018 大方人権まつり実行委員会(事務局 大方町民館)

☎ 43-1204

心に届け熱と光！
「第29回横浜解放まつり」

今年も「解放運動の熱と光を未来へ」をテーマに、第29回横浜解放まつりを開催します。

この催しは、同和問題をはじめ、あらゆる差別の解消をめざし、1年間の活動の成果を発表・提起する場であり、誰もが幸せに暮らせる社会の実現を願って開催するものです。

記念講演は、福岡県久留米市より中山洋一さんをお招きし、人権コンサートをしていただきます。

そのほか、地域交流事業の各教室や解放子ども会の発表、小・中・高校生による人権作文の発表などのほか、地域自慢の美味しい食べ物や味を味わえる出店も用意しています。

みなさんのご来場をお待ちしております。

催し・発表

◆日時 1月27日(土)午前9時～

◆場所 佐賀町民館

【午前の部】

- ・和太鼓演奏
- ・開会行事
- ・記念講演

「心に熱と光をもとめて」

中山洋一さんによる弾き語りコンサート

・佐賀保育所園児発表

【午後の部】

- ・佐賀中学校吹奏楽部演奏
- ・人権作文発表
- ・黒潮町職労部落解放研究部発表
- ・交流事業発表(和太鼓)
- ・解放子ども会発表
- ・(小学校部会、中学校部会)
- ・交流事業発表(コーラス)
- ・閉会行事
- ・もち・お菓子なげ

◆作品展示

◆場所 旧横浜保育所ホール

佐賀地域の保育園・小学校・中学校の人権に関する絵や書道、標語など

◆出店

◆時間 正午～

◆場所 老人憩いの家前広場

うどん、焼き鳥、から揚げ、カレー、じゃこ飯など

○お問い合わせ

横浜解放まつり実行委員会事務局 佐賀町民館

☎ 55-2108

**くろしお杯球技大会
(バレーボールの部)**

【10月14日～15日】

土佐西南大規模公園体育館

2日間で県内外18チーム、延べ184人が参加しました。各チームが日頃の練習で培った技術をめいっぱい発揮し、黒潮町の伊与喜JVCが見事準優勝を果たしました。

◆試合結果

- 優勝 大篠バレーボールクラブ
- 準優勝 伊与喜JVC
- 第3位 潮江南VBSポーツ少年団
- 第3位 春野JVC



伊与喜JVC

第12回黒潮町少年剣道大会

【10月22日 大方中学校体育館】

幡多地区のクラブ9チーム57名の豆剣士が熱戦を繰り広げました。

黒潮町からは黒潮町一心会と佐賀少年剣道教室の2チームが参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。



黒潮町一心会

◆試合結果

- 優勝 黒潮町一心会A
- 2位 黒潮町一心会B
- 【個人戦 3年生 女子の部】
優勝 伊芸 みなる(黒潮町一心会)
- 2位 井上 遥(黒潮町一心会)
- 【個人戦 4年生 男子の部】
優勝 深木 琉生(黒潮町一心会)
- 2位 井上 真希(黒潮町一心会)
- 【個人戦 4・5年生 女子の部】
優勝 伊芸 もなみ(黒潮町一心会)
- 【個人戦 5年生 男子の部】
優勝 松尾 恭太郎(黒潮町一心会)
- 2位 松本 泰平(黒潮町一心会)
- 【個人戦 6年生 男子の部】
2位 上岡 航大(黒潮町一心会)
- 3位 宮崎 珠吏(黒潮町一心会)

第29回・幡多地区小学生陸上競技大会開催

11月3日(金)、

宿毛市総合運動公園・陸上競技場にて「第29回・幡多地区小学生陸上競技大会」が開催され、黒潮町からも大方JACが参加し好成績を収めました。



【6年女子走高跳】

- 1位 金子愛那(入野小)

記録1 m 15 cm

【6年男子走高跳】

- 2位 中澤虎太郎(入野小)

記録1 m 15 cm

**くろしお杯球技大会
(ソフトボールの部)**

【11月4日 土佐西南大規模公園 佐賀東公園グラウンド】

県内外12チーム、登録選手190人が参加し日頃の練習の成果を発揮、各チ

ーム、登録選手190人が参加し日頃の練習の成果を発揮、各チ



熱戦の様子

ムが熱戦を繰り広げました。

◆試合結果

- 優勝 津島ジュニア
- 準優勝 窪川ワイルドボーイズ
- 第3位 東又ジュニアーズ
- 第3位 高南スポーツ少年団

黒潮カップ少年サッカー大会

【11月25日～26日 土佐西南大規模公園 佐賀東公園グラウンド】

25日(土)は県内外から12チームが参加し、6年生以下の部が開催、26日(日)には10チームが参加し、4年生以下の部が開催されました。

6年生以下

の部では、大方フットボールクラブが見事準優勝を果たしました。



試合風景

◆試合結果

- 6年生以下の部(1位グループ)
優勝 十津三里FCスポーツ少年団
- 準優勝 大方フットボールクラブ
- 第3位 介良サッカースポーツ少年団
- 4年生以下の部(1位グループ)
優勝 十津三里FCスポーツ少年団
- 準優勝 宇和フットボールクラブジュニア
- 第3位 四方十ジニアフットボールクラブ

第12回黒潮町スポーツ賞

黒潮町体育会では、町の体育スポーツの普及振興に顕著な功績をあげた個人および団体に対して表彰を行っています。

今年も次のとおり開催しますので、推薦基準を参考に推薦をお願いします。

◆推薦基準

①原則として、黒潮町に住所を有する者ならびに黒潮町出身者であって、スポーツの普及振興のための企画、または指導のために地域や職場、団体において10年以上にわたり率先して参加し、現在も熱心に指導にあたっている個人。

②県下競技会(新人戦は除く)において、優勝もしくは準優勝の成績をあげた中学生以上の個人、または団体。

◆締切 2月9日(金)

◆表彰式 3月7日(水)

◆日時 3月中旬(午後7時～)

◆場所 大方あかつき館

○お問い合わせ

教育委員会 生涯学習係

☎ 43-0044

(1月8日(月)まで ☎55-3190)

「若山楮」講演会

平成29年度農山漁村振興交付金事業「地域伝統産業復活から9年、若山楮の魅力とその価値を再確認」

◆日時 1月17日(水)

午後3時～5時30分

◆日程

・午後3時～

報告発表 若山楮の活動

(挨拶) 佐賀北部活性化推進協議会

会長 大石 正幸

(報告発表) 若山楮部会リーダー

中嶋久美子

・午後4時～

講演 日本・世界の「かみ」を取り巻く情勢・財団紙守

が見る若山楮の価値

講師 一般財団法人

世界紙文化遺産支援財団

紙守参事 北見 音丸

◆場所

国保保健福祉支援センターこぶし1階ホール(拳ノ川17-3)

○お問い合わせ

黒潮町観光ネットワーク

事務局 NPO 砂浜美術館

☎ 43-4915

狩猟免許(わな猟)試験のご案内

狩猟免許(わな猟)試験のお知らせです。シカやイノシシなどの被害にお困りの農林業の皆さんをはじめ、たくさんの方の受験をお待ちしています。

◆日時 2月18日(日)

午前10時～

◆場所

高知県立大学(池キャンパス)

(高知市池2751-1)

◆料金

初心者 5200円

一部免除者 3900円

◆申込書配布場所

県庁鳥獣対策課、中村地区猟友

会、(黒潮町役場 農業振興課、佐

賀支所 海洋森林課など)

◆お申し込み 持参または郵送

◆期日 2月8日(木)必着

○お申し込み・お問い合わせ

県庁鳥獣対策課

☎ 088-823-9042

※予備講習会があります。

2月11日(日) 午前9時～

(一社) 高知県猟友会

☎ 088-856-6641

林業就業力イダダンスを開催します

林業の職場で働きたい方、林業に関心がある方を対象に、ガイダンスを開催します。県内の森林組合や林業会社(約20事業体)が参加予定です。仕事内容や待遇面などを直接相談できるいい機会ですので、ぜひご参加下さい。

◆日時 2月3日(土)

午後1時30分～4時(3時30分受付締切)

◆場所

高知商工会館 4階光の間

(高知市本町1-6-24)

◆その他 申込不要

◆林業未経験者歓迎

○お問い合わせ

(公財) 高知県山村林業振興基金高

知県林業労働力確保支援センター

☎ 0887-57-0366



**平成30年度黒潮町宮川奨学金
金貸与奨学生を募集します**

黒潮町では、教育の機会均等を図り、社会の健全な発展に寄与するとともに、有為の人材を育成することを目的に、学資の貸与を受ける黒潮町宮川奨学金貸与奨学生を募集します。

◆申込受付期間

1月15日(月)～2月23日(金)

◆奨学生の資格

- ① 申請者および保護者が本町に引き続き3年以上居住している方(住民基本台帳に記載されていること)
- ② 優秀な学徒で高等学校以上の学校に入学ならびに在学し、修学の志を有するにもかかわらず、経済的理由により修学または入学困難と認められる方
- ③ 品行方正、向学心旺盛、志操堅実で在学学校長の推薦がある方

※奨学生は「黒潮町宮川奨学金資格選考委員会」の意見をもとに教育長が決定します。

◆奨学金の額

- ① 高校またはこれと同程度の学校の奨学生 月額2万円以内
- ② 大学またはこれと同程度の学校の奨学生 月額3万円以内

※奨学金は無利息です。

◆奨学金の貸与

4月および10月の年2回に分けて貸与します。

◆貸付の期間

その学校における正規の修学期間を限度とします。

◆奨学金の返還

卒業の月の1年後から、奨学金金貸付年数の2倍以内の期間内に、全額を半年賦で返還してください。

【納付期日】

- ・前期分 6月25日まで
- ・後期分 12月25日まで

◆申請の手続

奨学金を希望する方は、出身学校または在学学校長の推薦を受けて、下記の期間内に次の書類を提出してください。(すべての書類は1部で結構です)

- ① 奨学生願書(様式第1号)
- ② 奨学生推薦調書(様式第2号)
- ③ 添付書類

- ・住民票(申請者・保護者)
- ・平成28年中分の所得証明書(申請者の世帯全員)
- ・平成29年度分の納税証明書(申請者の世帯全員)

◆願書等の交付場所

・教育委員会本庁および佐賀支所

- ・大方中学校および佐賀中学校
- 申込・お問い合わせ
教育委員会学校教育係
〒789-1199-2
黒潮町入野5893 ※新住所
☎ 43-0044
(1月8日(月)まで ☎ 55-3190)

保育所入所申込の受付を開始します

平成30年度の町内保育所への入所申込の受付を開始します。なお、現在入所している児童についても入所の手続が必要です。

保育所(4カ所)

佐賀保育所・大方くじら保育所・大方中央保育所・南部保育所

◆入所期間

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

◆入所基準・提出書類

保育所入所案内および提出書類は各保育所および教育委員会にあります。世帯の状況により、入所基準や提出いただく書類が異なりますので詳しくは入所案内をご覧ください。

◆受付期間

1月9日(火)～31日(水)

◆申込書の交付と受付窓口

各保育所および教育委員会

* 広域入所を希望される方も手続してください。

* 受付期間を過ぎても申込を受け付けますが、希望する保育所に入所できない場合があります。

○お問い合わせ

- 佐賀保育所 ☎ 55-2117
- 大方くじら保育所 ☎ 44-1112
- 大方中央保育所 ☎ 43-0511
- 南部保育所 ☎ 43-3481
- 教育委員会就学前教育係 ☎ 43-0044



相続登記相談のお知らせ

高知県司法書士会では、2月を「相続登記はお済みですか」月間と定め、相続登記、法定相続情報証明制度のほか、遺産分割、遺言など、相続に関する様々な相談に司法書士がお答えする無料相談会を開催します。

黒潮町における開催は左記のとおりです。予約不要ですので、ぜひお気軽にご利用ください。

日時

2月3日(土)午前10時～午後3時

場所

総合センター(佐賀1080番地1)

○お問い合わせ

高知県司法書士会総合相談センター

☎088-825-3143

黒潮町立佐賀児童館指定管理者の公募について

児童の健全な保育(学習)と健康の増進を図るとともに、地域に根差した子ども会・保護者会などの組織活動の育成のため、佐賀児童館の指定管理者を公募します。

施設の名称

黒潮町立佐賀児童館

募集要件

「黒潮町立佐賀児童館指定管理者公募要領(ホームページに掲載)」のとおり

募集期間

1月9日(火)～1月31日(水)

○お問い合わせ

住民課 佐賀町民館係

☎55-2108

**第23回土佐西南文化交流祭
今年度は黒潮町で開催**

土佐西南文化交流祭は、幡多地区文化協会(土佐清水市・宿毛市・大月町・三原村・黒潮町)が「幡多はひとつ」を合言葉に、地域間交流を目的に舞台芸能を発表するイベントで、持ち回りで開催しており、今年度は黒潮町で開催されます。

今回は5市町村から13団体が出演予定で、各団体とも日頃の練習の成果を発揮できるように一生懸命取り組んでいます。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時

開場 正午

開演 午後12時30分

会場 ふるさと総合センター

入場料 無料

内容 舞台芸能の発表(舞踊・民踊・日舞・フラダンス・フォークダンス・詩吟・剣詩舞・銭太鼓など)

参加団体

- ①土佐清水市文化協会・清水邦楽さくら会/アロハルアナフラ清水教室
- ②宿毛市文化協会・高知岳風会宿毛支部/剣城流 剣舞愛好会宿毛支部
- ③大月町文化協会・大月民踊クラブ/スポーツダンス愛好会
- ④三原村文化協会・華の会/三原村銭太鼓愛好会
- ⑤黒潮町文化協会・ルアナと楽しい仲間たち/コスモスクラブ大方/勤雅紀念会/佐賀いきいき民踊クラブ/大方民踊クラブ

主催 幡多地区文化協会

共催 黒潮町教育委員会

○お問い合わせ

教育委員会生涯学習係

☎43-0044

(1月8日(月)まで ☎55-3190)



**平成29年度
黒潮町戦没者追悼式**

先の大戦で亡くなられた方を追悼し、平和を祈念するため、黒潮町戦没者追悼式を行います。今年度は、平成30年3月に大方地域で開催します。

どなたでも参加できます。

町内各地から送迎バスが出ますので、ご利用希望の方は左記へご連絡ください。

日時 3月24日(土)

受付 午前9時～

式典 午前10時～

場所 ふるさと総合センター

○お問い合わせ

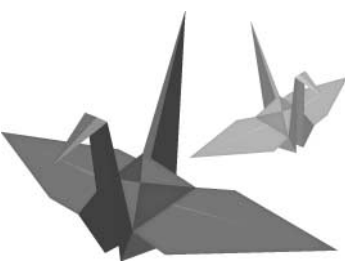
本庁健康福祉課福祉係

☎43-2116

佐賀支所地域住民課

総合窓口第2係

☎55-3112



確定申告のご案内

平成30年度(平成29年分)の確定申告書の受付を次のとおり行います。

今年度より、税理士による国税電子申告は行いません。黒潮町のシステムによる申告書の作成となりますので、ご了承ください。

※公的年金などを受給されている方で確定申告が不要になる場合があります。

申告受付期間	2月16日(金)～3月15日(木) ※公的年金などを受給されている方で、所得税の還付を受けたい方は2月7日(水)から受付可能です。	
申告受付場所時間	本庁 1F くろしおホール(新庁舎)	午前8時30分～11時30分 午後1時～4時30分
	佐賀支所 1F 町民室	午前8時30分～正午 午後1時～5時

年金受給者や所得税の還付を受けたい方は、できるだけ2月7日(水)～2月15日(木)の間にお越しください。

次の日程で休日も申告の受付をします。

本庁 3月3日(土)・11日(日)
佐賀支所 3月10日(土)・11日(日)
※受付時間は平日と同様です。

◆必要書類

1 マイナンバーカード(個人番号カード)または番号確認書類と身元確認書類(下表の【★本人確認書類】をご覧ください)

2 「給与所得の源泉徴収票」、「公的年金等の源泉徴収票」、その他の収入のある方はその所得の計算に必要なもの(収入の明細、経費の領収書など。事前に集計をしておいてください)

3 生命保険料、地震保険料の控除証明書、国民年金・国民年金基金の控除証明書

4 黒潮町以外の国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料などの支払いがある方はその額のわかる書類(黒潮町の分は不要です)

5 医療費控除やセルフメディケーション税制(医療費控除の特例)(※1)の申告をされる方は、平成29年中に支払った医療費の明細書や領収書など(事前に集計をしておいてください)

6 印鑑、筆記具、還付金振込口座の通帳など

なお、「分離課税所得」などがある場合は、税務署での確定申告をお勧めします。

また、確定申告は、国税電子申告・納税システム(通称e-Tax)による提出もできますので、積極的な利用をお願いします。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。(http://www.nta.go.jp)
※1:セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)については、次の記事に掲載しています。

★本人確認書類

マイナンバーカードをお持ちの方	マイナンバーカードだけで、番号確認と身元確認が可能です。(写しを添付する場合は、表面および裏面の写しが必要です)				
マイナンバーカードをお持ちでない方	<table border="1"> <tr> <th>身元確認書類</th> <th>番号確認書類</th> </tr> <tr> <td>運転免許証・パスポート・公的医療保険の被保険者証・身体障害者手帳・在留カードなどのうちいずれか1つ</td> <td>通知カード・マイナンバーの記載がある住民票の写し、または住民票記載事項証明書などのうちいずれか1つ</td> </tr> </table>	身元確認書類	番号確認書類	運転免許証・パスポート・公的医療保険の被保険者証・身体障害者手帳・在留カードなどのうちいずれか1つ	通知カード・マイナンバーの記載がある住民票の写し、または住民票記載事項証明書などのうちいずれか1つ
身元確認書類	番号確認書類				
運転免許証・パスポート・公的医療保険の被保険者証・身体障害者手帳・在留カードなどのうちいずれか1つ	通知カード・マイナンバーの記載がある住民票の写し、または住民票記載事項証明書などのうちいずれか1つ				

確定申告や町民税などの申告におけるセルフメディケーション税制(医療費控除の特例)について

税制改正によりセルフメディケーション税制が平成29年1月1日から平成33年12月31日まで適用されます

健康維持のために購入したスイッチOTC医薬品(※2)のうち、一定の要件を満たすものの購入費用が年間12000円を超えると、医療費控除の特例を受けられるようになります。対象となる医薬品の領収書には、目印(★など)と説明文が印字されています。対象医薬品の一覧は、厚生労働省のホームページで確認できます。(http://www.mhlw.go.jp)

※2:スイッチOTC医薬品とは、医療用医薬品(処方薬)として使われていた成分が、有効性や安全性に問題がないと判断され、薬局で店頭販売できる市販薬に転換(スイッチ)されたもの。



セルフメディケーション税制を受けるための条件

セルフメディケーション税制を受けるには、次の①と②、両方の条件を満たす必要があります。

①健康保持増進および疾病予防のための一定の取組を行っていること

次の健診や予防接種（医師の関与があるものに限ります）のうち、いずれかを受けている必要があります。申告の際にこれらの取組を証明する書類が必要です。

- ・特定健康診査（メタボ検診など）
 - ・予防接種
 - ・定期健康診断（事業主検診）
 - ・健康診査（人間ドックなどで、医療保険者が行うもの）
 - ・がん検診
- ②従来の医療費控除を受けていないこと

従来の医療費控除とセルフメディケーション税制はどちらか一方しか適用できません。

セルフメディケーション税制の控除額について

控除額の計算式は次のとおりです。

控除額＝スイッチOTC医薬品

の購入費用 12000円
（控除額の上限 88000円）

●控除を受けるためには「支払先の名称」、「医薬品の名称」、「支払った金額」、「控除の対象であること」の記載がある領収書（生命保険や社会保険などで補てんされた場合は、保険金や給付金額のわかるもの）が必要となります。

また、セルフメディケーション税制は、医師などの治療行為に対する費用は対象に含めませんのでご注意ください。

○お問い合わせ

本庁 税務課

☎ 43-2816

佐賀支所 地域住民課

総合窓口第1係

☎ 55-3113

1月の納税

- 町県民税第4期
- 国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料第7期

安心・便利な口座振替をご利用ください。

国民健康保険税納付について

国民健康保険税は、国民健康保険の資格取得をした月から月割りで賦課され、届出月の翌月から納付となります。

例外的に3～5月に資格取得の届出をした場合、7月納付としていましたが、平成30年からその期間の届出についても、翌月納付となります。（平成29年度以前の資格取得分が対象で、平成30年度資格取得分は対象外。※1）

- ①資格取得 平成30年3月
 - ②届出 平成30年3月
- 資格取得①と届出②どちらも平成30年3月中の場合

納付期限 5月1日（火）※2

- ①資格取得 平成30年3月
 - ②届出 平成30年4月
- 届出②が資格取得①の翌月の場合

納付期限 5月31日（木）

※1 平成30年度分については7月から期別納付（1期～8期）となります。

※2 通常、普通徴収の納付期限は月末日ですが、土日、祝祭日と重なる場合は翌営業日が納付期限となります。

○お問い合わせ

本庁 税務課 住民税係

☎ 43-2816



軽自動車税について

① 四輪以上の重課税

平成28年度より、最初の新規検査から13年経過した四輪以上の軽自動車について、重課税が導入されています。

平成30年度課税の重課対象は平成17年3月31日以前に最初の新規検査を受けた車両(自動車検査証に記載されている初度検査年月が「平成17年3月」以前)となります。

※重課税率とは、グリーン化(環境への負担軽減)を進める観点から最初の新規検査年月から13年を経過した車両について、その翌年度から適用されます。

車種区分			重課税率(年税額)
軽四輪	乗 用	自家用	12,900円
		営業用	8,200円
	貨物用	自家用	6,000円
		営業用	4,500円



② グリーン化特例(軽課)の延長

平成29年度に実施されたグリーン化特例(軽課)が2年延長されることとなりました。排出ガス性能と燃費性能の優れた軽自動車(四輪以上)は、平成30・31年度の軽自動車税が軽減されます。軽減の対象となる年度と税率は以下の表のとおりです。

初度検査年月(自動車検査証に記載)	軽減年度
平成29年4月～平成30年3月	平成30年度
平成30年4月～平成31年3月	平成31年度

車種区分			税率(年税額)		
			(ア)	(イ)	(ウ)
四輪以上	乗 用	自家用	2,700円	5,400円	8,100円
		営業用	1,800円	3,500円	5,200円
	貨物用	自家用	1,300円	2,500円	3,800円
		営業用	1,000円	1,900円	2,900円
(ア) 概ね75%軽減	電気自動車・天然ガス軽自動車(平成21年排出ガス10%低減) または平成30年排ガス規制適合車				
(イ) 概ね50%軽減	平成17年排出ガス基準75% 低減達成車(★★★★)、または	+	乗 用:平成32年度燃費基準+30%達成車 貨物用:平成27年度燃費基準+35%達成車		
(イ) 概ね50%軽減	平成30年排出ガス基準50% 低減達成車	+	乗 用:平成32年度燃費基準+30%達成車 貨物用:平成27年度燃費基準+35%達成車		

○お問い合わせ 本庁 税務課 住民税係 ☎43-2816

「税に関する作品」
「税についての作文」表彰式

幡多租税教育推進協議会が幡多地区の小学校3・4・5年生を対象に「税に関する作品」習字の募集を行い、11月15日に優秀作品表彰式が行われました。

黒潮町教育長賞に上川口小学校5年生・大西宙舞さん、中村税務署長賞に拳ノ川小学校3年生・山本あんずさんが入賞し、アピアさつき一階展示場で表彰式が行われました。

また、全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が全国の中学生を対象に「税について」の作文を募集し、中村税務署管内の入選者の発表がありました。

黒潮町からは、佐賀中学校3年生・明神右京さんの作文が黒潮町租税教育研究会長賞に入選し、佐賀中学校で教育長より表彰状が渡されました。



山本あんずさん

親子ワークショップ
自分で作った粘土パーツをメイソンジヤアの蓋とウエルカムボードにデコレーションし、オ



親子ワークショップ



明神右京さん



大西宙舞さん

親子お菓子づくり教室

2月はバレンタインデー。大切な方や自分にチョコレートでお菓子を作ってみませんか。

◆対象者 町内在住の方
◆日時 2月12日(月)

◆場所 午前9時30分～正午まで
ケアラーズカフェ Smile

◆定員 20人(定員になり次第締切)
◆費用 1000円(簡単なラップ
ピング包装付き)

◆用意する物 エプロン

◆申込み締切 2月4日(日)まで

○お問い合わせ 岩本 仁美

☎090-3785-1446

リジナルの作品を親子で作りますか。

◆対象者 町内在住の方で未就学
児童のいる親子

◆日時 2月3日(土)
午前9時30分～11時30分まで

◆場所 保健福祉センター
2階大ホール

◆定員 20組(定員になり次第締切)
◆費用 1家族 500円

◆申込締切 1月28日(日)まで
○お問い合わせ 岩本 仁美

☎090-3785-1446

110番通報の適切な利用を

110番

110番は、事件や事故が発生した際に、県民の皆さんと警察を結ぶホットラインであり、安全で安心な日常生活に欠かすことのできないものです。



緊急の場合は直ぐに「110番」、緊急の対応を必要としない各種ご相談やお問い合わせなどは「#9110番」や、中村警察署相談窓口をご利用ください。

中村警察署 代表 ☎0880-34-0110

黒潮町イベントカレンダー

2018(平成30)年1月

変更となる場合がありますので、詳しくは担当係にお問い合わせください。(青字=町外で開催される行事)

月日(曜)	行 事 名	場 所	時 間	お問い合わせ
1/3(水)	黒潮町成人式	ふるさと総合センター 大ホール	(受付)12:30 (式典)13:30	生涯学習係 ※☎43-0044
13(土)	第12回 黒潮町少年駅伝大会	佐賀中学校~明神水産	8:40	
14(日)	わんぱくスキー教室	愛媛県久万スキーランド	6:30	生涯学習係 ※☎43-0044
	黒潮町消防出初式 (雨天時はふるさと総合センターで式典のみ)	黒潮消防署⇒町内巡回⇒ 佐賀庁舎前グラウンド	(式典)8:30 (パレード)9:30	情報防災課消防防災係 ☎43-2188
21(日)	蒸しはぎ体験	若山楮和紙工房	1回目9:00~ 2回目正午~ 3回目15:00~	黒潮町佐賀北部活性化推進協議会 ☎55-7272(当日のお問い合わせ不可)
27(土)	第29回横浜解放まつり	佐賀町民館	9:00	佐賀町民館 ☎55-2108
28(日)	へぐり体験	若山楮和紙工房	9:00	黒潮町佐賀北部活性化推進協議会 ☎55-7272(当日のお問い合わせ不可)
	第23回土佐西南文化交流祭inくろしお	ふるさと総合センター	12:30	生涯学習係 ※☎43-0044
2/3(土)	2018大方人権まつり「第29回解放のまつり」	ふるさと総合センター	9:00	大方町民館 ☎43-1204
4(日)	第12回黒潮町マラソン大会	土佐西南大規模公園	9:00	生涯学習係 ※☎43-0044
10(土)	漂流物展	道の駅ピオスおおがた情報館	8:30	NPO砂浜美術館 ☎43-4915
12(月)	曽根杯卓球大会	土佐西南大規模公園体育館	9:00	生涯学習係 ※☎43-0044

※生涯学習係の電話番号は1月8日(月)まで ☎55-3190 です。

〈水道給水工事指定店 当番一覧表〉

月	日	水道給水工事指定店			
		中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
1	1	中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
	2	前 田 電 工	(株) 土 居 建 設	大 方 設 備 セ ン タ ー	大 西 設 備
	3	クオンライフラインサービス	山 本 建 設 (株)	平 野 住 設	村 越 設 備
	4~7	吉 本 水 道	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備	
	8~14	中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
	15~21	前 田 電 工	(株) 土 居 建 設	大 方 設 備 セ ン タ ー	大 西 設 備
	22~28	クオンライフラインサービス	山 本 建 設 (株)	平 野 住 設	村 越 設 備
2	29~31	吉 本 水 道	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備	
	1~4	吉 本 水 道	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備	
	5~11	中 村 住 設	道 倉 水 道 工 務 店	拳 ノ 川 住 設	
	12~18	前 田 電 工	(株) 土 居 建 設	大 方 設 備 セ ン タ ー	大 西 設 備
	19~25	クオンライフラインサービス	山 本 建 設 (株)	平 野 住 設	村 越 設 備
26~28	吉 本 水 道	(有) 弘 瀬 建 設	野 村 企 画 設 備		

● 当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応します。

店 名	住 所	電話番号		店 名	住 所	電話番号	
		事務所	自 宅			事務所	自 宅
大方設備センター	入野769	43-1483		大 西 設 備	上川口750-3	44-1025	
クオンライフラインサービス	入野1769	43-3075		吉 本 水 道	下田の0822-174	43-2024	
前 田 電 工	入野1574	43-1149	43-1546	拳 ノ 川 住 設	拳ノ川1781	55-7371	55-7114
村 越 設 備	入野292-19	43-3225		(株) 土 居 建 設	伊与喜43-5	55-2133	55-2363
中 村 住 設	出口372-2	34-3621	43-2061	(有) 弘 瀬 建 設	佐賀1990	55-2121	
野 村 企 画 設 備	田野浦1593	43-4665		山 本 建 設 (株)	佐賀2988	55-3141	55-2076
平 野 住 設	伊田2100	44-1513	44-1117	道 倉 水 道 工 務 店	浮鞭3558-8	43-2096	

○お問い合わせ 本庁 まちづくり課 土木係(水道担当) ☎43-2114 佐賀支所 建設課 水道係 ☎55-3700

みんなでささえる 国保会計



～ 制度改革についてのお知らせ ～

平成30年4月から国民健康保険制度が変わります。
国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年4月から、これまでの市町村に加え、都道府県も国民健康保険制度を担うこととなりました。

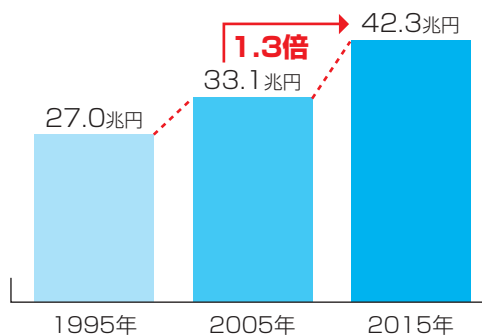
◆なぜ都道府県も国保運営に加わるの？

国民医療費は年々増え続けており、この10年で70歳以上の高齢者数は1.3倍に、国民医療費は1.3倍になりました。団塊世代が全員75歳以上になる平成37年には、国民医療費の総額は61.8兆円にもなる見込みです。

国民健康保険制度は国民皆保険の基盤ですが、構造的な課題を抱え、その財政は厳しい状況が続いています。

今後も国保制度を維持していくために、都道府県も保険者に加わり国保財政の安定化をめざします。

【国民医療費 10年ごとの推移】



国保制度の構造的な課題

年齢構成が高く
医療費水準が高い

所得水準が低く
保険税の負担が重い

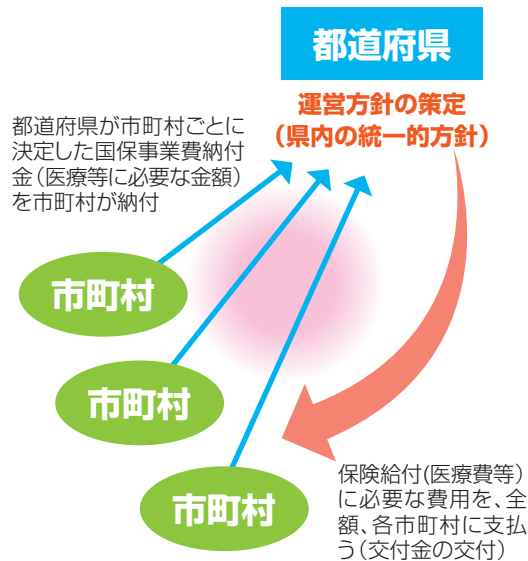
財政運営が不安定な
小規模保険者が多い

見直しの柱

- ▶ 国の責任として約3,400億円の追加的な財政支援（公費拡充）を行います。
- ▶ 都道府県と市町村がともに国民健康保険の保険者となり、それぞれの役割を担います。

見直しによる主な変更点

- ▶ 平成30年度から、都道府県も国民健康保険の保険者となります。（資格や保険税の賦課・徴収などの身近な窓口は、引き続きお住まいの市町村です。）
- ▶ 平成30年度以降の一斉更新から、新しい被保険者証などには、居住地の都道府県名が表記されるようになります。



制度改革後は、高知県が財政運営の責任主体となります。高知県は国保運営方針を定め、事務の効率化や標準化、広域化を推進していきます。

市町村は、制度改革後も各種手続などの窓口となり、保健事業も継続して実施していきます。黒潮町役場でこれまでどおり各種手続などを行いますので、役場窓口でできることに変わりはありません。

制度改革に伴い「変わること」「変わらないこと」については、広報3月号でお知らせします。

○お問い合わせ 本庁 住民課 国保係 ☎43-2800
佐賀支所 地域住民課 総合窓口第2係 ☎55-3112

建設労働者緊急育成支援事業

一般財団法人 建設業振興基金 経営基盤整備支援センターでは建設業での就業を希望している離転職者、新卒者、未就職卒業者等を対象として、「職業訓練生の募集」、「職業訓練の実施」、「建設企業への就職支援」を実施しています。

【本事業のポイント】

- 訓練費、資格取得費、交通費・宿泊費のすべてが無料です（食費は自己負担）。
- 職業訓練コースは多数あり（取得できる資格、コース日数等も異なります）、自分にあったコースを全国から選択できます。（遠方からの参加でも交通費・宿泊費が無料なので安心。）

- 躯体系コース** とび〈鳶・鉄筋工事・型枠工事など〉
鉄筋コンクリートの構造物をつくる仕事コースです。
- 仕上げ系コース** 〈内装工事・左官工事・タイル工事など〉
建物の内装や外観を仕上げる仕事コースです。
- 重機オペレーターコース**
建設機械を操作する仕事コースです。



取得資格が盛り沢山。最新情報はWEBにアクセス。訓練して、資格とって、就職する。

建設業の情報サイト【建設業ウェルカム】建設業Welcome!

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/>

○お問い合わせ (一財)建設業振興基金 経営基盤整備支援センター

☎03-5473-4589 担当：松縄・平井



若山楮 蒸しはぎ&へぐり体験

土佐の山仕事体験の「若山楮蒸しはぎ体験」と「楮のへぐり体験」を開催します。

かつて佐賀地域で生産されていた和紙の原料である最高品質の楮の復活活動拠点である「若山楮和紙工房」が完成しました。若山楮和紙工房完成のお披露目も兼ねたイベントです。

体験は無料で出店もあります。ぜひお越しください。

◆蒸しはぎ体験

【日時】1月21日(日) 午前9時～午後5時

【蒸し上がり予定(変更あり)】①午前9時 ②正午 ③午後3時

◆へぐり体験

【日時】1月28日(日) 午前9時～午後5時 (時間内はいつでも体験できます。)

【場所】若山楮和紙工房 (佐賀橘川157)

【駐車場】有

【お申し込み】不要

【料金】無料

○お問い合わせ

黒潮町佐賀北部活性化推進協議会 ☎55-7272

(当日のお問い合わせはできません)



先着**20名**
手漉きうちわを進呈

くろしおっ子の学校給食

白和え



材料(4人分)

乾燥ひじき	小さじ1
にんじん	20g
糸こんにゃく	60g
木綿豆腐	50g
薄口しょうゆ	大さじ1/2
A 上白糖	小さじ1
塩	ひとつまみ
ほうれんそう	1/2束
ごま(すり)	大さじ1/2
かつお節	1袋(1~2g)

白和えは和食の定番として、昔から慣れ親しんだおかずです。豆腐は、肉や魚を使わない精進料理でも貴重なたんぱく源として重宝されてきました。また消化吸収がよく、ほうれん草や人参など冬場に不足しがちな緑黄色野菜も一緒にとれます。豆腐の白い色合いが雪の降る季節にピッタリの1品です。

【作り方】

- ①乾燥ひじきを水で戻し(20分程度)、木綿豆腐はキッチンペーパーにつつんで15分ほど水けを切る。
- ②ほうれん草をゆでて、すぐ冷水にとり、水気を絞ってから2センチ幅程度に切る。
- ③糸こんにゃくは2センチ幅に切り、にんじん(千切り)・ひじきは一度湯がいて冷やしておく。
- ④水気をきった豆腐をなめらかにすりつぶして、Aの調味料、ほうれん草・③の具、ごま・かつお節を全部混ぜ合わせる。

○お問い合わせ

大方学校給食センター ☎31-3201
佐賀学校給食センター ☎55-2166

土佐西南パークゴルフ協会 11月月例杯

日時:11月19日(日) 開始:午前9時
場所:土佐西南黒潮パークゴルフ場

成績	氏名	A-1	B-1	小計	A-2	B-2	小計	合計	HC	総計
優勝	峰岸広美	26	24	50	26	24	50	100		100
準優勝	小野真人	27	27	54	24	25	49	103		103
3位	山崎利恵	29	26	55	25	28	53	108	-4	104
4位	西地 裕	27	26	53	27	26	53	106		106
5位	三吉誠二	27	27	54	26	31	57	111	-4	107
6位	田中誠二	27	27	54	27	27	54	108		108
7位	野村豊彦	26	28	54	26	28	54	108		108
8位	尾崎良二	25	28	53	27	28	55	108		108
9位	小野みね	24	29	53	27	32	59	112	-4	108
10位	松田 哲	26	27	53	29	28	57	110		110

ベストスコア: Aコース 24点 — 小野真人、小野みね
Bコース 24点 — 峰岸広美
ホールインワン: Aコース 吉尾俊照、蛭子直美
Bコース 野村豊彦
ベストグロス: 100点 — 峰岸広美

※総合計同点、カウントバック方式とする。
※カウントバックの優先順位は、合計・計・2小計・B2・A2・1小計・B1・A1とする。



黒潮町ケーブルテレビ 1月番組予定表

2018年も IWKTV をよろしくお願いたします

番組	放送時間
IWKTV番組 ※NEWSや役場のお知らせ、イベントの様子などをお届けします。	7:00 13:00 17:00 20:00
Kochi on TV!	10:00 15:00 19:00 22:00
片さんのFish!おふ	6:00 11:00 23:00
幡多サイクル紀行	8:35 14:35 18:35 21:35
JCC三人娘が行く!	8:45 14:45 18:45 21:45
サイエンスチャンネル	6:45 11:45 23:45
ショッピングチャンネル	9:00 12:00 16:00 24:00~6:00

IWKTV加入についてのお問い合わせは
光ネットワークサービスセンター まで
営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

FREE 0800-200-1373

番組内容の更新は、毎週水曜日の17:00です。

お知らせ

- ◆IWKTV総集編...2017年の番組をまとめて放送
放送日 12月27日(水)~1月3日(水)
- ◆IWKNEWS SPECIAL...
2017年のNEWSを一挙に放送
放送日 1月3日(水)~1月10日(水)
- ◆みんなの情報や投稿映像を募集中!!
おもしろいや、珍しいものなど番組で取り上げてほしいみなさんの情報をIWKTV制作室までご連絡ください。
※お寄せいただいた情報や映像などは都合により放送できない場合もあります。

注)放送内容などは予告なく変更する場合があります。「電子番組表」で正確な内容が確認できます。

IWKTVの放送時間・番組などに関するお問い合わせは 黒潮町役場 本庁 情報防災課 情報推進係 または IWKTV制作室まで
【情報推進係】 ☎43-2188 | 【IWKTV制作室】 ☎43-0500

路線バスの運行時間が変更になります

広報くろしお12月号No.141にて、路線バスの運行時間が変更になるお知らせをさせていただきましたが、バスの乗り継ぎの関係上、新たに変更箇所が生じたので、お知らせします。

■変更になる路線
伴太郎～上川口駅通～入野駅～中村駅～一条通

■変更箇所
中村駅から宿毛市方面への乗り継ぎの関係上、運行時間が5分早くなります。

変更前 変更後

始発地	伴太郎始発	伴太郎始発
主な停留所		
伴太郎	7:09	7:04
仲分川	7:19	7:15
蛭川	7:24	7:19
上川口駅通	7:31	7:26
鞭	7:35	7:30
早咲	7:38	7:33
入野駅 着	7:41	7:36
入野駅 発	7:41	7:36
入野本村	7:43	7:38
役場前	7:46	7:41
下田ノ口	7:49	7:44
田ノ口橋	7:51	7:46
田野浦分岐	7:55	7:50
下田分岐	7:58	7:53
中村駅	8:01	7:56
右山五月町	8:03	7:58
一条通	8:06	8:01

■スクール便…児童・生徒送迎バス。但し一般の方も無料でご利用いただけます(児童・生徒優先)
■土曜日・休日運休

漂流物展

私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。

今まで海岸に流れ着いた物はゴミとしか見ることができなかった。それを作品にしたのが『漂流物展』。「鵜の目、鷹の目、砂浜美術館の目」でビーチコーミングを楽しめばいろいろなことがわかってくる。

【期間】平成30年2月10日(土)～3月4日(日)

【時間】午前8時半～5時

【場所】道の駅ビオスおおがた情報館(黒潮町浮鞭3573-5)



○お問い合わせ

NPO砂浜美術館 ☎43-4915

放送大学 4月生募集のお知らせ

放送大学は、平成30年度第1学期の学生を募集しています。

10代から90代の幅広い世代約9万人の学生が、大学を卒業したい学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

○資料を無料で差し上げています。お気軽にご請求ください。

放送大学高知学習センター ☎088-843-4864

※出願期間は、第1回が平成30年2月28日(水)まで、第2回が3月20日(火)まで。



春休み海外研修交流事業 参加者募集

公益財団法人・国際青少年研修協会では、海外生活を通して交流を体験し、国際感覚を養うことを目的に7コースの海外研修参加者を募集しています。

【日程・対象】平成30年3月22日(木)～4月4日(水)の内 6～10日間
小学校3年生～高校3年生 ※コースにより異なります。

【定員】10～20人 【参加費】22.8～45.8万円 【締切】2月1日(木)

【研修国】イギリス・カナダ・サイパン・ニュージーランド・フィリピン・カンボジア

○お問い合わせ・資料請求 公益財団法人 国際青少年研修協会 ☎03-6417-9721

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-15-4 第三花田ビル4F



くろしおっ子を紹介します

町内在住の子どもたちを、お家の方からのメッセージといっしょに紹介します。



だん
浜田 暖くん
〈平成26年7月28日生まれ〉
お兄ちゃんと仲良くたくさん遊んでね。〈父・母より〉



しめい
明智 子明くん
〈平成26年9月10日生まれ〉
元気いっぱい大きくなってね やさしいお兄ちゃんになってね。〈父・母より〉



ここな
小松 心柎ちゃん
〈平成26年9月25日生まれ〉
やさしい女の子になってね。〈母より〉



あいと
宮谷 心澄くん
〈平成25年11月20日生まれ〉
たくましいお兄ちゃんになってね。 〈父・母より〉



はるき
平野 陽輝くん
〈平成26年3月30日生まれ〉
元気いっぱいたくさん遊んで大きくなってね。 〈父・母より〉



はん
ソロモン 松田 伴くん
〈平成28年6月12日生まれ〉
We love you bananas
〈PapaさんとMamaさんより〉

【写真募集中】子どもたちの成長の記念に写真を掲載してみませんか。
左記まで写真(デジカメの場合はデータ)とメッセージをお寄せください。
お問い合わせ 本庁 総務課 企画振興係

☒ somu@town.kuroshio.lg.jp
☎ 43-2177

くろしお協力隊がゆく!



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
高木智子

あけましておめでとうございます。みなさんお元気でしょうか。
どうか、良い年をお過ごしください。昨年の4月から黒潮町で地域おこし協力隊として活動しています高木です。早いもので町に来て9カ月が経ちました。私の活動は町の広報紙の作成で、取材などを行い町の取組やイベント情報、お知らせをお伝えしています。最初は慣れない取材に戸惑いもありましたが、取材を通して黒潮町の様々な側面を知り、町のみなさんの声を直接聞くことができる広報の仕事に、可能性とやりがいを感じています。
取材をしていて、黒潮町の一人ひとりの防災意識の高さや、人権活動に熱心なこと、子どもたちの育つ環境を地域がサポートしている様子、また、各地域で沢山のお祭りが開催、保存されていてイベントも盛んなことを知り、町のみなさんの支えとパワーと地元愛に驚きの連続でした。
町の広報担当としてみなさんと一緒に、さらに防災に強く、子どもたちがよりよい環境で育っていける黒潮町をめざして、取材や広報作成に取り組んでいきたいと思っています。



入野の浜



取材写真



イベント写真

図書館カレンダー

（○の日は休館日です。）
大方・佐賀図書館



1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3

※1月4日は年始休み、1月22日～26日は蔵書点検週間

新しくはいった本紹介

- 『うらどっこ』つくった！配った！子どもたちの2620日
森 尚水／著
- 誤嚥性肺炎で困らない本
寺本 浩平／著
- 西郷どん！（前編・後編）
林 真理子／著
- 忘れる女、忘れられる女
酒井 順子／著
- ねこ町駅前商店街日々便り
柴田 よしき／著
- 冬レシピ 2018
オレンジページ／編
- 漫画 君たちはどう生きるか
吉野 源三郎／原作
- 3じのおぢやにきてください
こだま ともこ／さく
- 30代夫婦が建てたナチュラルで子育てしやすい家
主婦と生活社／編
- いるよね～！こんなこ
たかい よしかず／さく・え

第26回企画展

『文芸誌』『大形』とともに

～創刊から52年、300号の歩みをたどる～

期間 1月6日（土）～3月25日（日）

会場 上林暁文学館（大方あかつき館2階）

*昭和40年公民館文学学級から生まれた文芸総合誌『大形』、その三百号巻頭言はこう締めくくられている。

『バーチャルな空間がスピードを持って押し寄せる現代社会に私たちは置かれている。抗いがたい文明ではあるが、その中にしごと心を澄ませてみるべき。歴史は決して断絶していかないという大事なことが見えてくるように思う。歴史のなかにひそかに継承されてゆくものを思えば静かな感動がある。私たち一人ひとりが、文芸を愛し、この『大形』を大きな心の財産として繋いで行こうという気持ちを持てないかぎり、将来はなお明るく開けているように思える。』

第18回 にながおえ・イメージ・感想画コンクール作品募集

募集期間／1月19日まで

部門／小学生未満の部
小学生各学年の部
中学生以上の部

主催／黒潮町立図書館



第20回 上林暁の作品を読む会

日時／2月17日（土）午後2時～4時

会場／あかつき館 2F 会議室

作品／『天草土産』（全集1）

（作品朗読、テキスト一文学館で担当、ご用意します）

開館時間

〔月・火・水・金〕

午前10時～午後6時

〔土・日〕

午前10時～午後5時

★佐賀図書館は午後1時～2時まで閉館。

★木曜日は休館日です。

貸出冊数・期間

〔本〕

1人5冊・2週間

★新刊は1週間です。

〔雑誌〕

1人3冊・2週間

〔ビデオ・CD・DVD〕

1人2点・1週間

返却するとき

・佐賀・大方どちらの図書館でも返却ができます。

・休館日に返却する時は各図書館にあるブックポストに入れてください。

・ビデオ・CD・DVDは開館時の受付窓口へ返却してください。

・借りた本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償していただく場合があります。

★返却期限をお守りください。返却期限を過ぎると督促を行います、その後貸出停止の処理を行います。

★お問い合わせ
大方図書館 ☎43-2110
佐賀図書館 ☎55-3150

地域子育て支援センター通信

明けましておめでとうございます。親子のふれあいの場、憩いの場として、たくさんのご利用をお待ちしています。今年もよろしくお祈りいたします。

1月の予定

★佐賀おでかけ広場

毎週火曜日

午前9時30分～11時30分

9日・16日・23日・30日

場所 佐賀保育所一時保育室

※中止をする場合は、事前にお知らせします。

★いっしょに遊ぼう

午前10時～11時30分

4日（木）お正月あそび

11日（木）12月1月の誕生日会

25日（木）製作遊び

場所 地域子育て支援センター

★第11回「子育て講座」

18日（木）午前10時～11時

場所 地域子育て支援センター

内容 『親子の絆教室』

講師 中村警察署 少年係

★お問い合わせ

地域子育て支援センター

（大方中央保育所内）

☎43-0512（直通）

